

益田さいえんすたうん2019
科学チャレンジ『ピタリ止めよう』変更点・詳細について

益田高校の「さいえんすたうん」を毎年楽しみにしてくださっている市内中学校・県内高校・地元の皆様、ありがとうございます。今年の「さいえんすたうん2019」が近づいて参りました。

1日目の「中学校科学チャレンジ」と2日目の「高校生科学チャレンジ」では、これまで続けていた『ゆっくり落とそう』を改め、『ピタリ止めよう』と題して、新しい科学チャレンジを開催します。今年初の競技です。限定されたルール内で「その手があったか!」という面白いアイデアもたくさんお待ちしております。

先日リハーサルを行った結果、各校に送付したレギュレーションから**2点ほど、変更**いたします。

訂正前	訂正後
(2) …とし、 競技回数は1回 です。	(2) …とし、 競技回数は2回 です。 各チーム2回競技し、成績の良い方を記録 します。
(3)①図のように、…ところから競技作品を静かに転がします(移動させます)。投げてはいけません。	(3)①図のように、…ところから競技作品を静かに転がします(移動させます)。投げてはいけません。 作品から必ず手を放して下さい。スタート地点から40cmのところ にテープを貼ります。 作品に手を触れていいのは、作品と競技台との接地点が、テープに達するまで です。

変更理由

1. 競技回数は1回としていましたが、どのチームも、本番の競技台を使った練習ができずに当日を迎えるため、1回目の不慮の失敗を考慮しました。
2. 作品を固定するために、作品の一部を手で押さえ続けることはできません。
 手を放す位置によって成績が変わらないように、「ここまでには必ず手を放す」という目印を貼ります。
 作品を台に置いた時、作品と台が接する部分が目印のテープ内にあるうちに、手を放して下さい。その範囲であれば、どのような動きをしても構いません。

当日の流れ

1. 当日の受付に作品を持ってきて下さい。直径20cm以上かつ、40cmの立方体に入る大きさであることを計測します。
2. 受付時に、写真を撮らせていただきます。受付を済ませた後に 作品を改良することはできません。
3. 受付横に、作品を修正する場所を設けます。運ぶ途中に壊れた作品を修正する時に使って下さい。はさみ・セロテープは準備します。その他カッターナイフ・接着剤等は各チームでご準備願います。
4. 科学チャレンジが始まるまで、各チームで作品を管理して下さい。(受付では預かりません。)
5. 科学チャレンジが始まったら、アナウンスにしたがって、作品を持ってステージに上がって下さい。
6. 作品の工夫点や見所をインタビューでお聞きします。インタビューに答える人と、競技に参加する人を一人ずつ決めておくとスムーズに進行できます。

作品の規格に関する質問と回答

- Q. 作品の大きさに条件がありますが、どの時点での大きさですか。
Q. 作品から手を放した後に、コース上で形状が変わってもよいのですか。

A. 受付で計測する時点で、直径20cm以上かつ40cmの立方体に入る大きさであればよしとします。ただし、作品の一部でも観客席へ脱落した場合は、記録となりませんのでご注意ください。(レギュレーション(4)③ステージから観客席へ脱落した場合は記録無しとします。)

- Q. ラバーシートはどれくらい滑りにくいのですか。

A. 実際に触ってみたところ、少し滑るかもしれないと感じました。卓球で、球に回転をかけるようになった頃のラバーといった感じです。

競技台の様子



全体像



使われているラバーシート



観客席との距離感



滑り台でいうと、座って足を伸ばす平らな部分はありません。本番は点線の辺りに手を放す目印のテープを貼ります。